



### 被災地の医療福祉生協の状況

#### ○松島医療生協

4つのグループに分かれ、松島湾の入口に浮かぶ宮戸島へ訪問行動。組合員さんの安否確認と避難所訪問を実施しました。

職員のための臨時学童保育を行っています。

(4月15日付、ニュースより抜粋)

#### ○郡山医療生協

4月16日、震災被害調査のためのアンケート実施等を検討するため職責者会議を開催しました。

各支部より18名の支部長さんが参加し第5回支部長会議を開催。震災後の病院の取り組みを紹介するとともに、組合員の被害状況、助け合い活動などを報告。放射線に関する放射線技師による学習会が提案されました。

(対策本部ニュース18日付No.27・28より抜粋)

### 医療福祉生協連からのお知らせ

#### みやぎ県南医療生協への支援はじまる

4月18日、医療福祉生協連会員支援部の職員1名がみやぎ県南医療生協に支援に入りました。地域訪問の具体化に向けた支援を中心に行います。同日現地に向け出発した尼崎医療生協の支援隊と合流します。

### 支援状況

#### ○韓国 医療生協連帯会長

##### 林鐘翰 (イムジョンハン) 氏からメッセージ

4月15日、韓国の医療生協連帯の会長、林鐘翰 (イムジョンハン) 氏から、メッセージが届きました。林会長はメッセージの中で「困難に会っている日本を手伝うために募金活動を展開しようと思います」「1995年の神戸地震の時、日本の生協組合員が

地域社会奉仕活動を大々的に展開し、日本の社会に大きな慰めと力を吹き入れたことを覚えています。今回も日本の生協が、困難を乗り越える力を見せることを期待しております」と述べられました。

## ○医療生協かながわ

4月22日より、事務1名、病棟看護助手1名、介護福祉士1名を宮城県へ派遣します。320万円を超える義援金が寄せられています。（18日付ニュースより）

## ○尼崎医療生協



尼崎医療生協は、医療福祉生協連と連携を取りながら、宮城県の「みやぎ県南医療生協」に支援に入っています。15日には、尼崎から持参した救援物資を携え、山元町の真庭区民会館の避難所を訪れました。「救援物資は置くところがないほど集まっている」と一方では報道されながら、実際の被災者は、震災後一ヶ月たってもまだ着替えも出来ないという現実があります。きめ細かい支援が切実に求められています。

みやぎ県南医療生協への支援継続のため、尼崎医療生協グループの独自支援隊は18日朝9時に出発。メンバーは、組合員活動部課長を責任者に、准看護師1名、事務1名とたじま医療生協組合員さんの4名。（救援ニュースNo.29 No.30より抜粋）

## ○広島医療生協



4月18日より医師1名、看護師1名、事務1名が宮城県へ医療支援に向いました。

広島共立病院の受付に震災医療支援活動を紹介するパネル展示を行っています（写真）。

（支援ニュースNo.27より抜粋）

## ○鹿児島医療生協

看護師3名、助産師1名、介護福祉士2名、事務2名が宮城県へ医療支援に入っています。さらに4月20日より医師1名、看護師1名が、4月25日より看護師1名、放射線技師1名が医療支援に入ります。

組合員より29万4306円の義援金が寄せられました。

義援金総額（4月17日現在）

**8185万1522円**（60生協、個人、事業者）

東日本大震災ニュースは月・水・金の発行を基本とします。

臨時でお知らせする情報があれば随時お届けします。

担当：江本（at\_e@hew.coop）・丸山（kj\_m@hew.coop）